コースコード：EL-GX-SECPASS
税込価格：27,500円 (税抜価格：25,000円)
日数：30日間

コース概要

セキュリティパスポートは、デジタル人材向けのセキュリティ入門資格講座です。
企業活動でのメールやクラウド、AIなどのデジタル活用に伴い、サイバー攻撃や法規制は、年々厳しくなってきています。
本講座では、現代のビジネス環境において、セキュリティの重要性を""自分ごと""として捉え、日常業務のなかで情報を安全に扱う判断力と実行力を発揮できる人材を育成し、資格として対外的に証明できます。

ここに注目

1．デジタル人材に向けたサイバーセキュリティの第一歩
・インシデントの多くは「人のミス」が原因。だからこそ、基本を理解することが重要です
・SNS・生成AI・クラウドなど、便利なツールの裏に潜むリスクを知り、加害者にならないための意識を育成
・個人情報保護法や不正アクセス禁止法など、法令順守は全社員に求められる責任。日常業務に直結する知識を身につけます

2．講座内容はサイバーセキュリティの第一人者が厳選
・幅広いサイバーセキュリティの知識分野より業種や業務内容に限らず社会人として最低限理解するべき内容を厳選して講義します
・国内を代表する情報セキュリティ専門家・上野宣が、企業現場で本当に必要とされる知識・行動を厳選し、実践的に構成
・法律・マルウェア・SNS・生成AIまで、幅広く“ 今必要な常識 ”をやさしく学べます

3．「まずはこれだけ」で安心！これからセキュリティを学ぶ方にも最適
・難しい用語を使わず、“ これから働く人 ”に必要なセキュリティ常識をしっかり解説
・メールの送り方からパスワード管理、SNSの注意点まで、“ やりがちな失敗 ”を防ぐための知識と行動をわかりやすく伝えます

ワンポイントアドバイス

受講対象者

デジタルを推進していく人材（情報管理を担う管理職・社内従業員の教育を担う方・システム開発、インフラ構築、データ分析などIT技術者）、デジタルを利用する人材（非IT技術職・非IT人材）の方が対象です。「セキュリティ＝難しい」と思われている方や「ITが苦手」と感じている方、新入社

員も含め広く受講頂けます。

前提条件

特にありません。どなたでもご受講いただけます。
なお、コースの受講登録には、会社名、氏名（漢字およびローマ字）、E-mailアドレスが必要です。

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

セキュリティの重要性を“ 自分ごと ”として捉える意識を育成
・情報の適切な取り扱いに必要な判断力・実行力を育成
・インシデントの未然防止につながる行動習慣とリスク感度を向上
・法令順守や情報管理に対する理解を深め、セキュリティ文化の定着を促進
・情報を正しく安全に扱う力を底上げし、組織全体の安定力を強化

アウトライン

セキュリティパスポート講座では、デジタル人材が最低限おさえるべきサイバーセキュリティに関する基本事項について学び、攻撃から防護する方法について講義します。

1. セキュリティとは何か？
日常的に守るべき情報資産や、その情報資産が保護されているサイバー空間の概念、サイバー攻撃の脅威と被害を受けた場合の影響について理解します。また、会社だけでなく、全ての社会人が担うべき役割としてサイバーセキュリティの基本を学びます。

2. 会社と日常の守り方
会社で取扱う機密情報と、日常的に使用するメールに関する攻撃の脅威とセキュリティの基本を学びます。利用頻度が高くなりつつあるクラウドサービスやSNS等、利便性の裏にあるリスクと危険性を認識できるようになります。

3. セキュリティの脅威のしくみと対策
ランサムウェアに代表されるマルウェアの特徴や標的型攻撃、フィッシング詐欺の手口や感染した場合の被害を被害例を通して理解し、これらの攻撃から身を守る方法について理解します。

4. 普段からできるセキュリティ習慣
最低限守るべき習慣や予防措置を学びます。また、セキュリティ意識を向上する為に必要な事柄を理解します。

5. セキュリティトラブルの正しい対処法
セキュリティインシデントとは何か？発生時の報告や初期対応から、事後の再発防止の検討方法まで一通りの流れを学びます。

6. 情報と法律の基本ルール
個人情報保護法や、その他日常的に法を犯す可能性のある法規まで幅広く関連法規やその中で守る

べき事項について解説します。また、会社や組織のなかでセキュリティを意識し対応する文化の醸成するための基本を学びます。

7. 生成AI時代のセキュリティ
生成AIの誤った利用がセキュリティ事故を招く可能性を理解し、業務でAIを活用する際にどのようなことに配慮する必要があるかを学習します。また、ビジネス側だけでなく攻撃者も生成AIを利用する現状を踏まえ、意識すべきポイントを学びます。

※約4時間 (オンデマンド提供（言語：日本語 視聴期間30日）